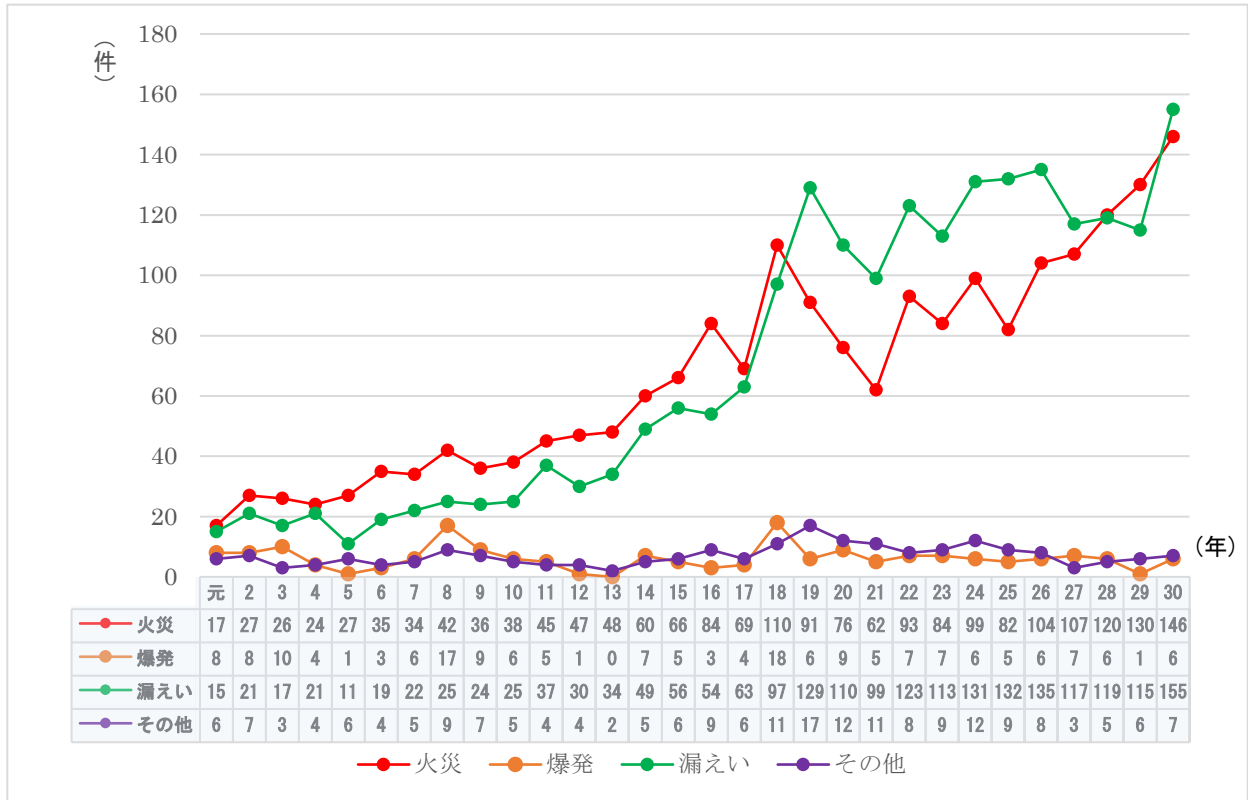


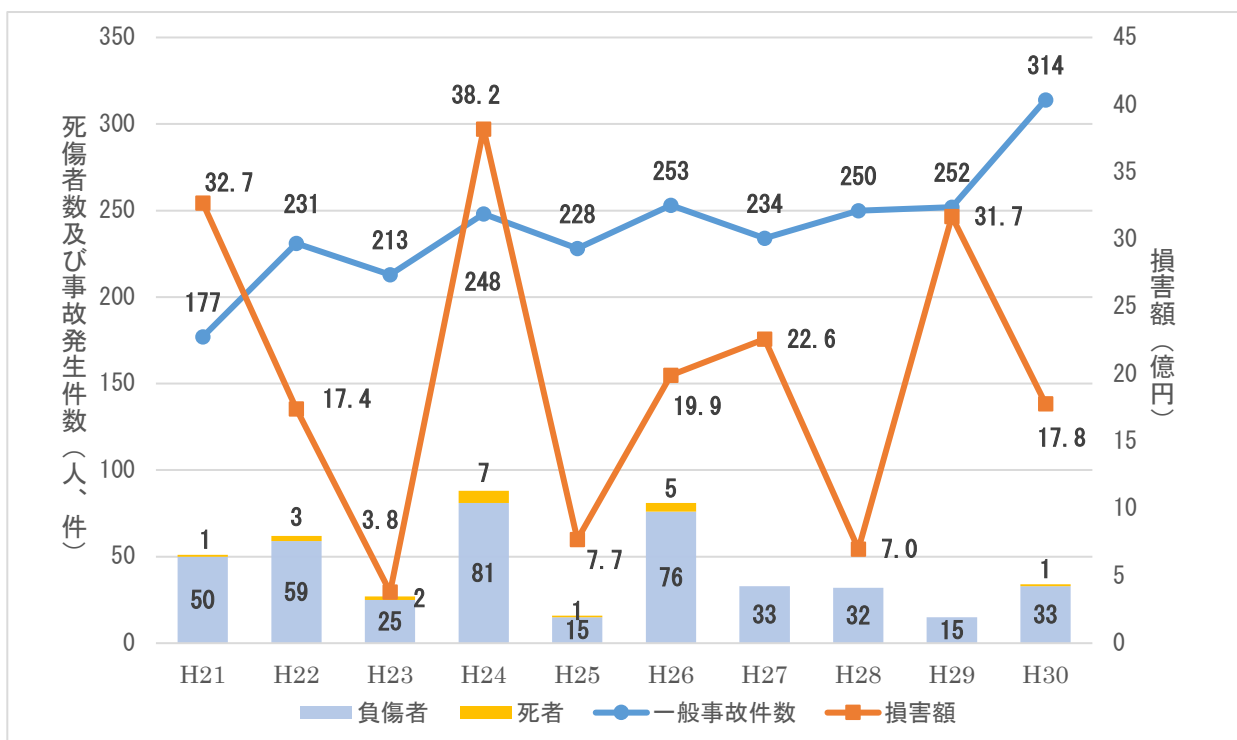
一般事故では、漏えい事故が顕著に増加しており、事故種別の中では最多となっています。

一方で、事故発生件数は増加したものの、死傷者数及び損害額は、例年と比較して高い水準にはありません。

【平成元年以降の一般事故発生件数（事故種別ごとの推移）】



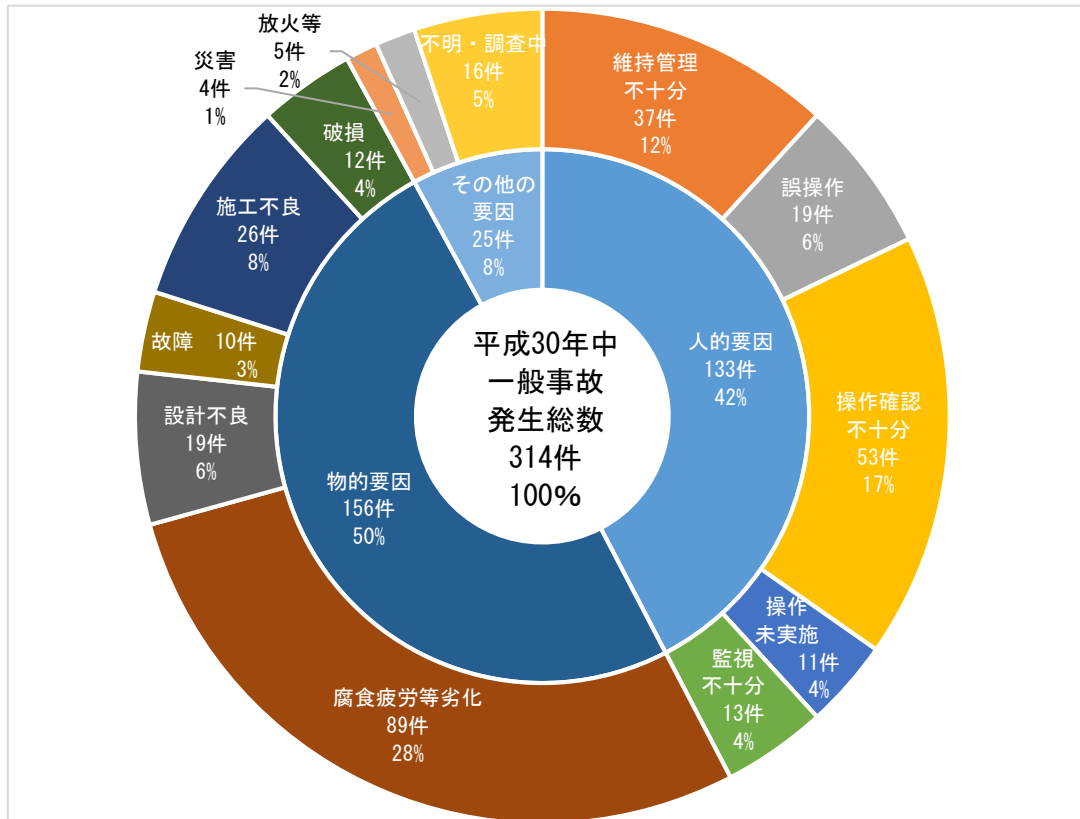
【過去10年の一般事故発生件数と被害状況】



一般事故の発生要因としては、人的要因と物的要因のうち腐食疲労等劣化で約7割を占めています。

また、過去10年の推移では、近年ほぼ横ばいで推移していた人的要因が前年と比較して32件増加するとともに、物的要因による事故の発生についても増加傾向にあることから、事業所における従業員教育、施設の点検の充実が望まれます。

【平成30年中における一般事故の発生要因】



【過去10年の一般事故における要因別発生件数の推移】

